

**I 開催状況**

開催日時	開催場所	出席者数
令和元年 5月 8日（水）15:00～16:30	吉川市305会議室	11名
令和元年 7月 10日（水）15:00～16:30	〃	10名
令和元年 9月 11日（水）15:00～16:30	〃	10名
令和元年 11月 13日（水）15:00～16:30	〃	9名
令和2年 1月 14日（水）10:00～12:30	児童発達支援事業所見学	11名
令和2年 3月 11日（水）15:00～16:30【予定】	吉川市305会議室	—

**II 会議の主な内容****1 情報提供・意見交換**

- (1) 各機関の障がい児に関する事業内容の紹介
- (2) 障がい福祉サービスの利用状況について

**2 サポート手帳について**

あらゆるライフステージにおいて一貫した支援を継続するためのツールである「サポート手帳」について、幼稚園・保育園へのアンケートや、活用する保護者や関係機関からの意見を元に、市としての活用方法を協議。サポート手帳に閉じ込んで配布することのできる「吉川版活用案内」の内容を検討した。

**3 事例検討（1事例）**

市と相談支援事業所が介入中の困難事例について、部会内で共有。支援の方向性について協議し、多機関連携の必要性を再認識した。その後もケースについて状況共有を継続する事で、部会参加者が連携しながら支援を進めることに繋がった。

**4 児童発達支援事業所の見学（3事業所）**

各事業所の見学に加え、支援者間の顔つなぎを目的として、吉川市内3カ所の児童発達支援事業所の施設見学会を開催。参加者が、事業所ごとの特徴や対象層の違いを把握し、実際の療育現場のイメージを掴むきっかけとなった。

**III 令和2年度の子ども部会について**

令和元年度は、「サポート手帳活用方法の検討」を足がかりとして、切れ目のない支援体制構築に向けて具体策を検討。本人・保護者を軸として、関係機関が横の繋がりを持ちながら、支援のバトンを適切に受け継いでいく必要性を再認識した。

次年度の活動について「多機関との情報共有・交換や、施設見学」「多機関が関わっている困難ケースの対応」などを希望する声が挙がっており、部会参加者が他機関の役割や立ち位置を学びながら、実際の支援に生かせる内容としていきたい。